

— 人に寄り添い未来をつくる 確かな技術で豊かな社会づくりを — 大成エンジニアリング 株式会社

所在地：〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1
FORECAST 早稲田FIRST8F
TEL：03-5285-3151
FAX：03-5285-3150
URL：https://www.taiseieng.co.jp
従業員：325名
創 立：1971年10月
代表者：代表取締役社長 岩崎 信治



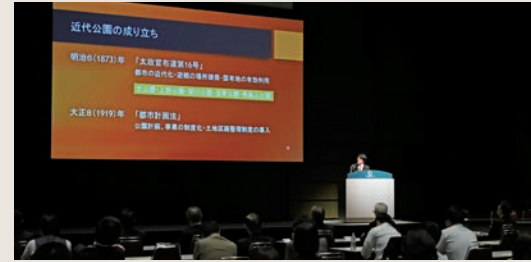
社屋



上信越自動車道 佐久管内施工管理業務（北野牧工事）



羽島管内特定更新等工事土木施工管理業務（長良川橋床版取替工事）



会社全体会議



施工管理部 現場研修



管理技術者 育成研修



設計部 研修



高輪築堤跡第7橋梁橋台部全景（国指定史跡）



高輪築堤跡第7橋梁橋台部近景（国指定史跡）

当社の歩みと経営理念

当社は、1971年の創業より、発注者を支援する総合建設コンサルタントとして高速道路を中心とするインフラ整備に携わり、調査・計画・設計・施工管理を行ってきました。また、1999年には埋蔵文化財の発掘調査部門を設け、日本の「歴史・文化」を未来に伝える事業にも取り組んでいます。

経営理念として、「顧客満足」「社員満足」「社会貢献」を掲げ、経営理念を実現するために、4つの経営方針（コンプライアンス経営・健康経営・社員成長支援・技術力の強化）を設定しています。

発注者支援業務の歴史と強み

当社の発注者支援業務は、日本の高速道路整備と密接に関係し、高速道路の創成期に発注者支援業務を立ち上げて以来、主に日本道路公団（現NEXCO3会社）の発注者支援業務を中心に受注し、高速道路の建設や保全における、道路・橋梁・トンネル等の設計照査、積算補助及び、安全・品質・工程管理等の業務支援を行っています。

当社の強みは、創立間もないころから続く、新入社員や中途入社社員への技術者研修、また技術レベル

に応じた研修体制だと自負しております。これら研修により、現場において確実な業務を実施し、発注者から高い信頼と評価を受けてきました。

現在、全国22現場（東日本高速道路株式会社9現場、中日本高速道路株式会社7現場、西日本高速道路株式会社5現場、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所1現場）で業務を行っています。

現場と連携した設計

設計業務では、高速道路の新設道路設計や橋梁設計、また高速道路更新事業の耐震補強設計や床版取替設計等を行っています。

当社の設計部の強みは、前記した幅広い発注者支援業務での経験が活かせること、また各発注者支援業務現場との連携により、現場の課題等を把握した具体的な検討、設計ができることだと考えています。

文化財調査業務

文化財調査業務は、1999年に文化庁から文化財調査に民間会社活用の方針が示されたことを機に、業務を開始。地方公共団体や不動産デベロッパーなどからの発注を受け、発掘調査～報告書作成までを一

貫して行っています。特に、近年では得意とする江戸時代から明治時代の案件で受注を増やし、この分野では大手3社に入るまでに成長しています。

最近では、一部現地保存となった国指定史跡、高輪築堤跡（明治の鉄道遺構）の発掘調査に参画しました。

社員成長支援と技術力の強化

会社価値向上の基盤となる社員一人一人の成長を、人間力・技術力双方から平等な学習機会を創出し、きめ細かく支援するために、社内研修の充実や資格取得支援（受験指導や受験費用の全額会社負担等）に取り組んでいます。

健康経営と快適な職場環境

年1回の健康診断へのオプション診断や再検診への会社費用負担、年次有給休暇の計画取得の推進、育児休暇・勤務制度や、ハラスメント等の外部相談窓口の設置やe-ラーニングによるハラスメント研修等、従業員の健康管理支援の充実に力を入れています。

また、業務環境面では全従業員へスマートフォンを貸与し、社内イントラネットへの接続を可能としており、外出時の出退勤や業務連絡等に使用することで、

業務効率化に役立てています。ワークフローの導入や電子契約の導入など、DX化にも積極的に取り組み、快適で効率的な職場環境づくりに努めています。

その成果もあり、離職率は2.6%（2023年度）と低い状況です。

時代にあった建設コンサルタントを目指して

新たな50年に向け、社員の尽力により築き上げてきた信用を継続し、人財の育成と培った技術の承継と向上を図り、発注者から一層期待され信頼される会社を目指してまいります。

近年の技術革新の進展やグローバル化、少子高齢化に伴い、取り巻く環境は変化し、人々の価値観も多様化しています。目まぐるしく移り変わる時代に対応するために、新しい働き方に適する各種制度の更なる導入やDX化等で企業文化の変革を推進し、過去の経験や実績に甘んじることなく、常にチャレンジ精神を大切に挑み続けたいと考えています。

誠実かつ真摯に歩んできた当社の「社風」を変えることなく、技術と知識を研鑽し続け、さまざまな場面で新たな時代の社会資本整備、地域活性化に貢献してまいります。（文：代表取締役社長 岩崎 信治）